

活動名	笑顔いっぱい！びわこ☆1・2・3キャンプ in 2018春		団体名称	びわこ☆1・2・3キャンプ実行委員会
			活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
			活動の目的	⑦自然災害で被災した子供を支援する活動
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果		■各スケジュールごとの活動内容
<p>1月28日に2017年春・夏の報告会実施。3月24日から4月4日までの12日間、滋賀県高島市マキノにある白藤学園マキノ研修センターにて、保養キャンプを実施。参加者は子ども54名、大人3名（内保護者2名）。イベントでは、サイクリング、野草摘み、膳所城址公園でのお花見、びわ湖こどもの国、自由遊びの他、温泉プールや体育館でも遊び、沖縄民謡のライブやちぎり絵のワークショップを行った。</p> <p>毎年恒例の味噌作り、餅つき、ドラム缶ピザ作りの他、食育のお話を実施し、また、普段の食事の準備などを通して、食と健康について考える機会を設けた。</p>		<p>11月～4月オーガニックマーケットin三井寺で出店・チラシ配布</p> <p>2018/1/28報告会実施</p> <p>3月24日～4月4日で春キャンプ実施</p>		<p>11月～4月のオーガニックマーケットin三井寺ではオリジナルグッズの販売やボランティア・支援の募集チラシ配布を行った。1月28日の報告会には支援者やボランティアさんなど50名以上の参加があり、キャンプの活動報告の他に、関西への避難者の方と子ども脱被ばく裁判の弁護団長からお話をいただいた。</p> <p>春キャンプでは、味噌作り、ドラム缶ピザ作りなどのイベントを行った。できるだけ自由遊びの時間を設けて外でのびのび遊べるようにした。食育のお話会では体に良い食べ物や食べ方について学んだ。毎日の掃除、洗濯、食事の準備などを当番制で協力して行った。</p>
■活動目標		原発事故被災地の子どもたちを対象にした、豊かな自然の中での心身両面への具体的な支援活動を通じた健全育成と、将来の担い手である子どもたちの自然環境や健康に対する関心を高めること		
■長期成果		<ul style="list-style-type: none"> 参加の子どもたちは放射能のない環境で心身を解放することができ、長期の共同生活を通して自主自立が促され、自尊心が育つ。 自然体験や野菜の収穫体験、毎日の食事の手伝い、食育のお話会を通して、自然や自分の食、健康に関心が持てるようになる。 		
活動風景				
 <p>お手伝い ご飯の下ごしらえは子どもたちの協力が欠かせない</p>		 <p>味噌作り：大豆、塩、麴を混ぜてみんなで作る。味噌は一年寝かせて、来年のキャンプの食卓に上がる</p>		 <p>自転車大好き！：自転車はいつも大人気。キャンプ中に初めて乗れるようになる子もいる。</p>
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化		■得られたノウハウの共有・発信
<p>（得られた成果） お天気にも恵まれ、病気や大きな怪我もなく、楽しく遊び、生活できた。今回、初めて子どもたちにキャンプ参加翌日と最終日前日にイベントについてのアンケート調査を行った。アンケートの結果、「とても楽しかった」「楽しかった」の割合の平均がイベント参加者の8割を超え、中でも事前調査での期待以上に好評だったのは、サイクリング、琵琶湖に行く、お土産を買いに行く、餅つき、味噌作り、食育のお話会、大掃除だった。</p> <p>食育のお話会は初参加の子どもたちに好評で、学ぶことの意欲を感じた。</p> <p>（今後の課題） 琵琶湖に行ったのに「海」だと勘違いしていた子がいたり、野草摘みは参加者には好評だったが、参加人数が少なかったため、次年度は、事前に琵琶湖や野草についての話をするなど、関心を持たせるための動機付けが必要と感じた。今後はイベント以外の日常の遊びや生活についてもアンケートを取り、運営に役立てていきたいと考えている。</p>		<p>これまでのキャンプで、子どもたちが積極的に取り組めておらず、事前アンケートでも「楽しみ」にされていなかった。大掃除が今回好評だったのは、地元ボランティアさんの協力で、子どもたちが手伝って掃除グッズを手作りし、新聞紙で窓を磨くなどを大人も混ぜて取り組んだことの結果だと考えられる。</p> <p>スタッフ以外にも大人が活動に加わり、励ましてもらったり、褒めてもらったりすることで子どもたちが活発に取り組めるようになったと思うので、地元のボランティアさんと子どもたちの関わりが増えるようなイベントを組み込んでいきたい。</p> <p>春は大学生ボランティアの参加が少なかったが、中高年のボランティアが多く助けられた。昨年からのボランティアで参加しているキャンプOBの高校生の成長も頼もしかった。参加者の子どもたちも、食材の下ごしらえなどを積極的に手伝ってくれる姿が見られ、協力することの大切さや楽しさを感じてくれたのではないかなと思う。</p>		<p>今回のキャンプでは、新しい試みとしてアンケートを実施し、企画しているイベントについては概ね好評であることが分かった。アンケートの方法は、事前に期待するイベントに○をし、事後に楽しめたかどうかをポイントにして、そのポイント付けた理由とともに記述する形式にした。その結果、自分自身はイベントを楽しめたが、友達が途中で転んで悲しかったため低いポイントを付けたなど、裏事情を読み取ることができ、単に点数化しては分からない、子どもたちの興味関心や心の動きも知ることができた。</p> <p>今回は主なイベントについてのみのアンケートだったので、今後、さらにアンケート内容を精査するとともに、日常生活についても調査して、キャンプの運営に役立てたいと考えている。</p> <p>また、他の保養団体と情報交換する際にも、これらの結果を利用できるよう同様のアンケートの実施を呼びかけ、データを蓄積していきたい。</p>
〒520-2314 住所：滋賀県野洲市小堤184-1（暮らしを考える会内） 団体名：びわこ☆1・2・3キャンプ実行委員会 （フェイスブック） https://www.facebook.com/Biwako123camp/ （ブログ） https://www3.hp-ez.com/hp/biwako123/				<p>助成金額 500,000円</p> <p>助成期間 H29.9.1～H30.8.31</p>

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。